

多治見市の英語多読事業の取組み

たじみ多読を楽しむ会 (T.T.T.) とともに

◎ 多治見市では利用者の語学学習のサポートを目的にして英語多読コーナーを開設しました

英語多読コーナーを運営するための3つの柱

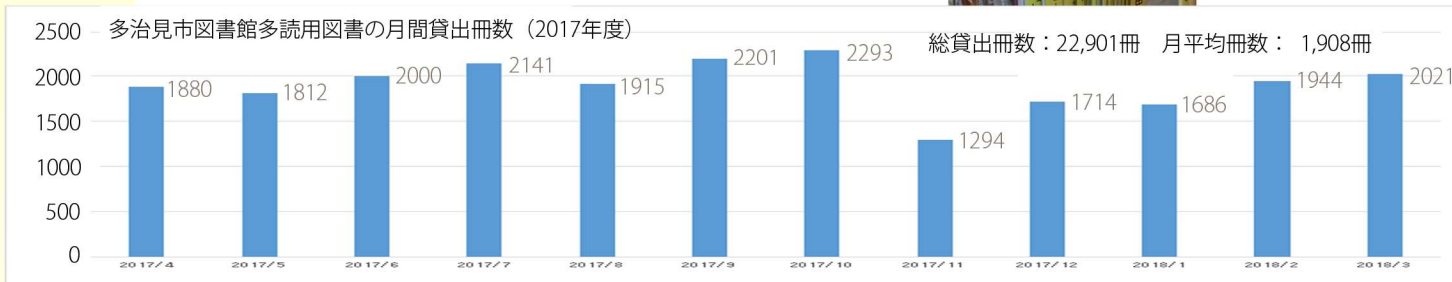
- 1) 多読資料の充実 2) 定期的な講座の実施 3) T.T.T.との連携

POINT

1

多読コーナーの利用状況

多読資料の収集



利用者の学習意欲に応える

開設当初は360冊 目標蔵書数3,000冊

2018年9月現在

- ・69シリーズ 2,679冊
- ・CD 975枚
- ・レベル0.0~6.5

多治見の多読は熱い

T.T.T.

が多治見の多読を盛り上げる

なぜ

POINT

2

新しい仲間が生まれる・多読の質を高める講座

定期的な講座の実施



これまで 初心者向け講座4回+講演会1回 開催

- ・多読のしくみと図書館を活用した多読を紹介
- ・2018年2月と10月 親子多読講座開催

これまで 継続者向け講座4回

- ・継続への意欲を高め 途切れがちになった気持ちを奮い立たせる
- ・長期継続のために必要なものは何かを再確認できる



講座開催後には必ず多読資料の貸出冊数の上昇が顕著に表れる

多読を継続する有意義な機会となっている



T.T.T.が多読を楽しむ企画を発信

T.T.T.との連携

多読を続けるには仲間が必要 → 多読クラブ・読書会の開催 → 月1回から2回の組み合わせへ発展 → メンバーが仲間を増やすためのイベントを考える → 多読が盛り上がる

T.T.T.の魅力 魅力的なアイデアが発信されるヒミツ



➢ 様々な場面でファシリテーターが生まれる → メンバーは“多読”を楽しむ方法を持っている
多読クラブではニックネームで呼び合う。肩書等に関係なく自由にアイデアを提案し、生まれるアイデア一つひとつをみんながサポートする。

➢ 異世代が集まる

T.T.T.は小さな子どもから年配の方、男性、女性…、と様々な人が集う。みんなが互いを認め合う関係が築かれている。

多読マラソン

たくさん読む



期間中に読んだ本を記録、提出してもらい、10冊以上読んだ方のニックネームを多読コーナーで紹介。また、期間中はメンバーがおススメ本を紹介する帯を作成してランナーを併走する。

メガネチャレンジ

やさしい絵本からはじめる

Oxford Reading Treeシリーズの本の中にある隠れアイテム（メガネ、ホネ、隣のおじさん）を探してリストに記録するという企画。全冊探し終えてリストを提出するとORTシリーズのキャラクターのぬりえがプレゼントする。

3・6・9月の各読書会は、メガネチャレンジデーを開催し、より多くの人に多読を広げる。12月の読書会では答え合わせを行う。

